

フロイント産業株式会社

STANDARD

TOKYO

(証券コード6312)

2025年2月期
決算説明資料

2025年4月11日

2025年2月期
連結決算概況

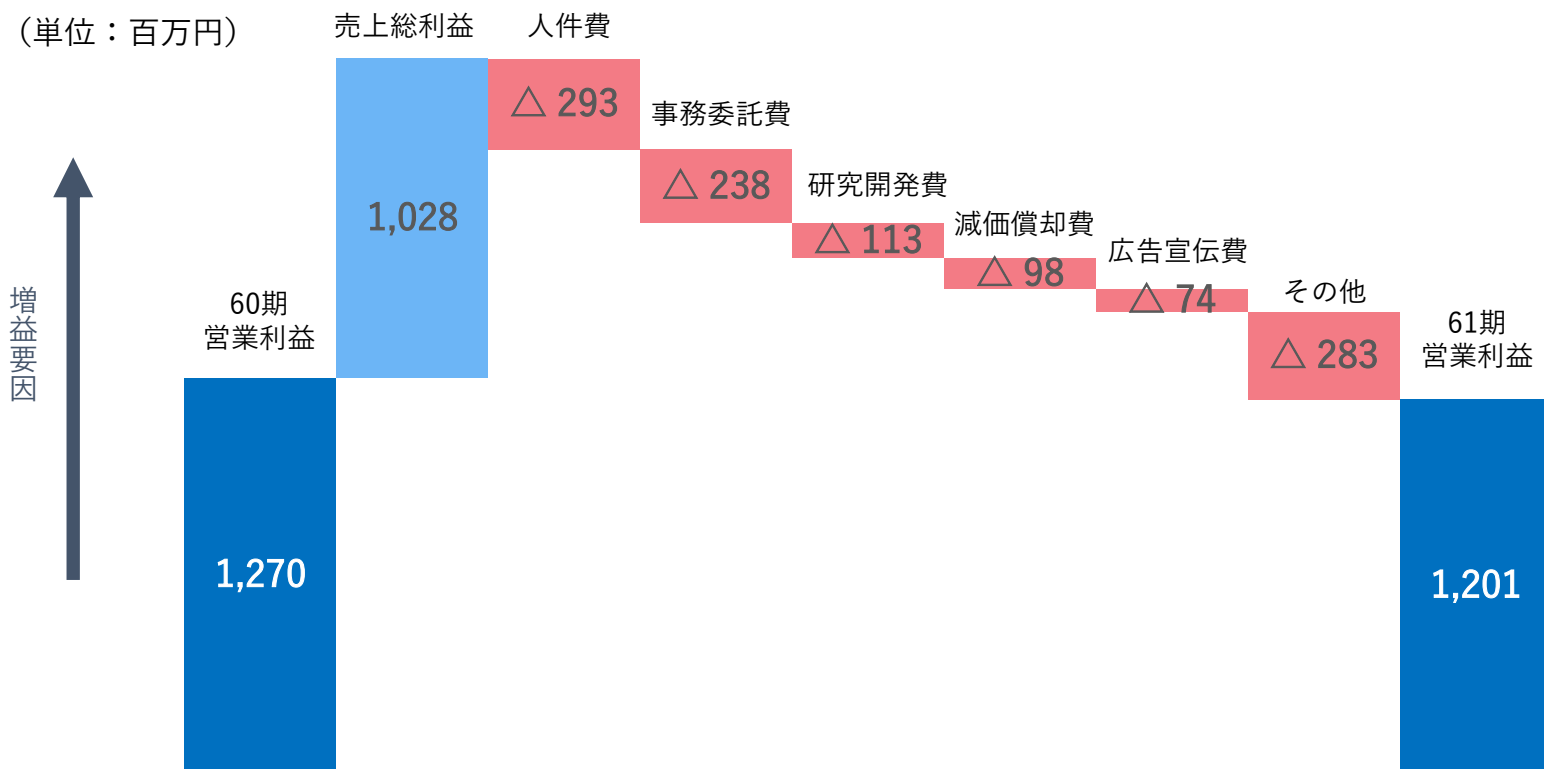
連結決算サマリー

- 売上高は業績予想に対して若干の未達も前年同期比で増加
 - イタリア子会社の不調を国内機械事業の大幅増収により補う
- 営業利益は業績予想を9%超過達成
 - 人件費増、新基幹システム更新に伴う費用もあり、前年実績を下回る
- 期末受注残高は前年に続き過去最高を記録
 - 国内機械は減少も米国子会社が伸長

(単位：百万円)	2024/2月期	2025/2月期	前年比増減		2025/2月期 予想
				%	
売上高	22,903	23,397	494	2.2%	23,500
営業利益	1,270	1,201	△68	△5.4%	1,100
経常利益	1,285	1,219	△66	△5.1%	1,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	764	637	△127	△16.7%	770
一株純利益 (円)	45.46	37.71	△7.75	△17.0%	45.76
ROE	5.3%	4.2%	—	—	5.0%

連結営業利益増減分析

- 売上総利益は主に国内機械事業の売上増加に伴い、前年同期比で大幅増加
- 賃上げによる人件費の増加、基幹システムの更新に伴う一時費用（事務委託費）および減価償却費、研究開発費の増加、海外展示会への3社共同出展（広告宣伝費）、円安の影響（海外子会社経費）などにより、販売管理費は前年同期比で約11億円増加



機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

フロイント産業	工場建設遅延なく計画以上に出荷・納品ができ、大幅増収・増益 利益率の高いメンテナンス事業の伸びも貢献
フロイント・ターボ	売上高は前年と同水準ながら、自社製品の売上割合が増加し、営業 利益は過去最高
FREUND Inc. (米国)	売上高は出荷の期ズレ等もあり減収 営業利益は粗利率が改善したため増益
FREUND S.r.l. (イタリア)	売上高は顧客理由による出荷の遅れや新規受注が苦戦し前年比大幅減 営業利益は売上の低調により大幅赤字

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2024/2月期	2025/2月期	前年比増減	
				%
売上高	16,157	16,755	598	3.7%
フロイント産業	6,904	8,785	1,881	27.2%
フロイント・ターボ	1,761	1,762	1	0.1%
FREUND Inc.	6,169	5,709	△459	△7.4%
FREUND S.r.l.	1,755	1,044	△711	△40.5%
営業利益	924	1,241	316	34.2%
フロイント産業	659	1,220	560	85.0%
フロイント・ターボ	81	160	79	97.9%
FREUND Inc.	86	224	138	159.7%
FREUND S.r.l.	80	△329	△409	—

機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

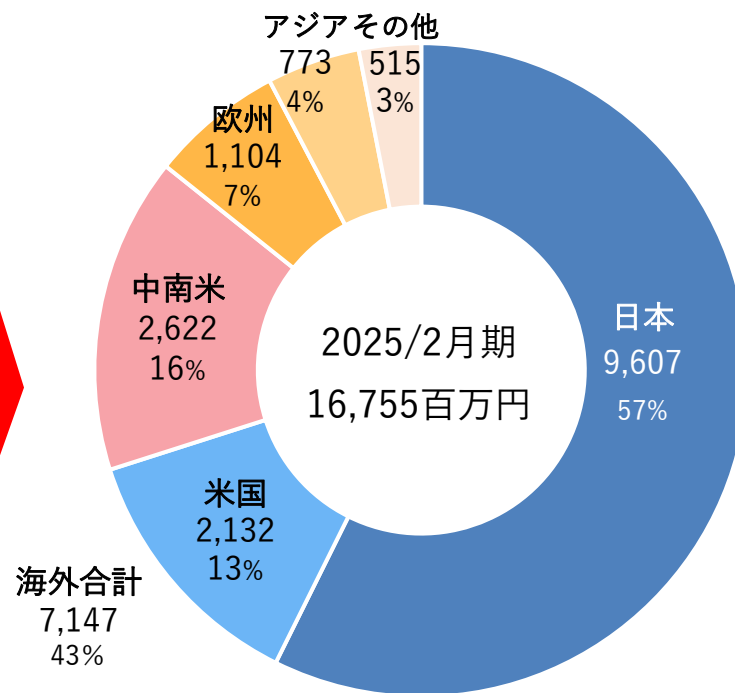
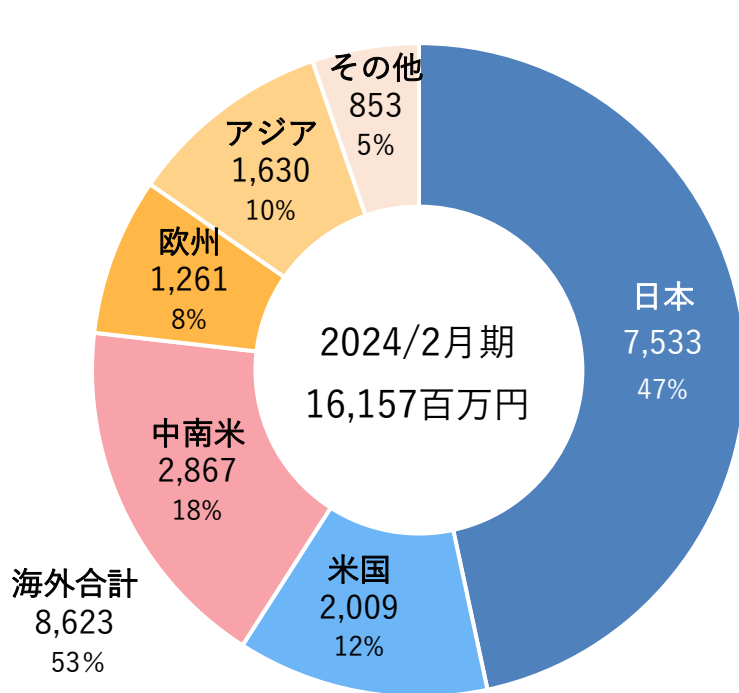
フロント産業	受注高はジェネリックメーカーの新工場案件が減少し、好調だった前年を下回った。受注残高は前年比減少も高水準を維持
フロント・ターボ	受注高は各分野（化学・電池）において順調に伸長し過去最高 受注残高も前年比増加
FREUND Inc.	米国・中南米を中心に新規受注が好調。Freund S.r.l.のパウダーハンドリング装置も加え、受注高・受注残高ともに過去最高
FREUND S.r.l.	新興国の政情不安や得意顧客の案件の延期により受注高および受注残が減少。Freund Inc.を通じてのパウダーハンドリング装置の受注は増加

(単位：百万円)	2024/2月期	2025/2月期	前年比増減	
				%
受注高	18,600	17,851	△748	△4.0%
フロント産業	9,863	6,950	△2,913	△29.5%
フロント・ターボ	1,201	1,637	436	36.3%
FREUND Inc.	6,065	8,710	2,645	43.6%
FREUND S.r.l.	1,469	553	△916	△62.4%
受注残高	15,842	17,076	1,233	7.8%
フロント産業	10,914	9,284	△1,629	△14.9%
フロント・ターボ	607	762	155	25.6%
FREUND Inc.	3,479	6,436	2,956	85.0%
FREUND S.r.l.	841	592	△249	△29.6%

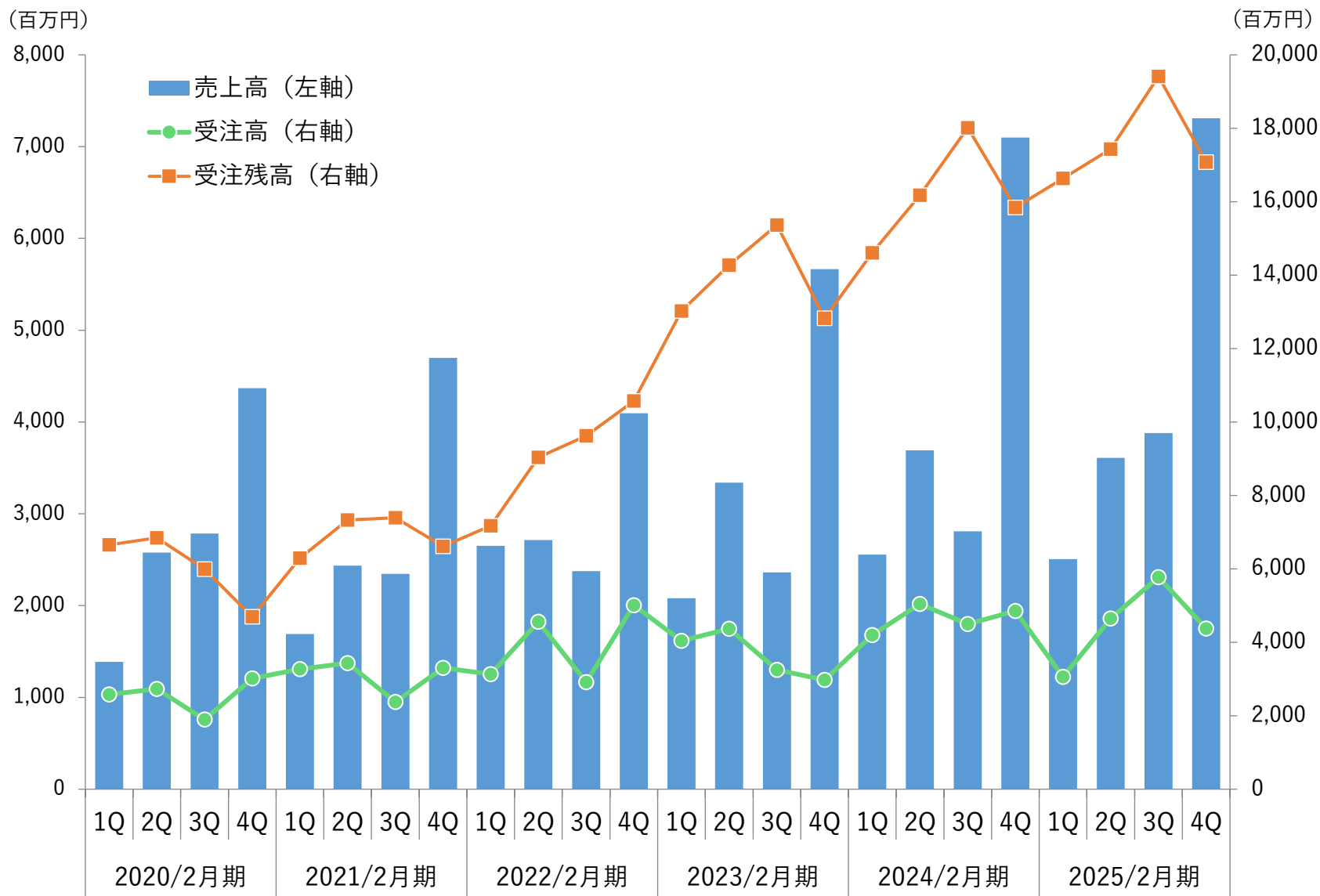
機械部門：地域別売上高

国内 受注案件の着実な出荷により、大きく増収
2期ぶりに国内売上が海外を上回った

海外 アメリカと中南米は引き続き好調だが、中国や新興国等への売上が低迷したため、海外売上高は減少



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

売上高

医薬品添加剤：ユーザーの一部製品の出荷調整があり、国内事業の売上高は前年を若干下回ったが、海外市場の売上が堅調に推移し、全体の売上高は前年同期比で増加

食品品質保持剤：ユーザーの一部に複数社調達への切り替えがあり、その影響で売上高は前年を下回るも計画通りに推移

営業利益

医薬品添加剤の自社製品の割合が減少したことに加え、品質保持剤部門の売上減少および新基幹システム更新に伴う一時費用など販売管理費が増加し、前年比で減少

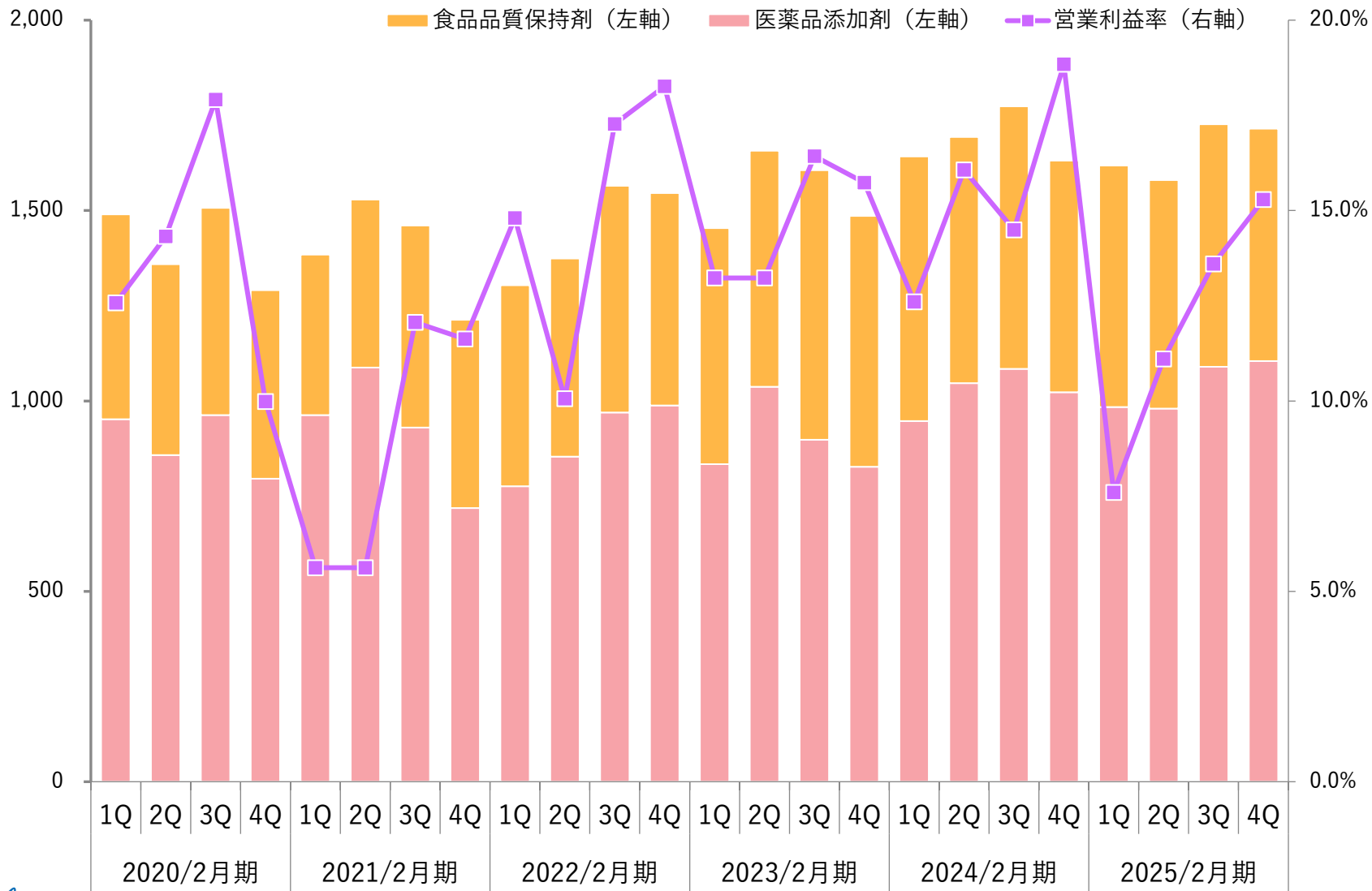
(単位：百万円)	2024/2月期	2025/2月期	前年比増減	
				%
売上高	6,745	6,641	△104	△1.5%
医薬品添加剤	4,105	4,159	54	1.3%
食品品質保持剤	2,640	2,481	△159	△6.0%
営業利益	1,044	809	△235	△22.4%

化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

【営業利益率】

(百万円)



連結貸借対照表サマリー

- 売上債権の回収が進んだ一方で、米国子会社を中心に来期出荷に向けた棚卸資産（仕掛品）が増加
- 受注残が多く、契約負債が増加

資産の部

負債・資本の部

(単位：百万円)				(単位：百万円)			
	2024/2月末	2025/2月末	増減額		2024/2月末	2025/2月末	増減額
流動資産	18,537	19,648	1,111	流動負債	9,920	10,411	491
現金及び預金	4,736	5,152	415	仕入債務	3,881	3,104	△ 776
売上債権	7,058	6,226	△ 831	短期借入金	515	108	△ 406
棚卸資産	5,815	7,515	1,699	契約負債	3,932	5,241	1,309
その他資産	926	754	△ 171	その他負債	1,592	1,956	364
固定資産	7,252	6,910	△ 341	固定負債	845	710	△ 134
				純資産合計	15,023	15,437	413
資産合計	25,789	26,559	769	負債純資産合計	25,789	26,559	769

連結キャッシュフロー サマリー

(単位：百万円)	2024/2月期	2025/2月期
営業キャッシュフロー	2,368	1,750
税引前利益	1,101	1,114
減価償却費	539	662
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 1,380	851
棚卸資産の増減額 (△は増加)	95	△ 1,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,085	△ 780
契約負債の増減額 (△は減少)	887	1,327
法人税等の支払額	△ 267	△ 510
投資キャッシュフロー	△ 739	△ 459
有形固定資産の取得による支出	△ 348	△ 254
無形固定資産の取得による支出	△ 391	△ 61
財務キャッシュフロー	△ 874	△ 855
短期借入金	△ 450	△ 417
配当金の支払額	△ 333	△ 336
現金及び現金同等物 増減額	819	415
現金及び現金同等物 期末残高	4,736	5,152
フリー・キャッシュフロー	1,628	1,290

2026年2月期
連結業績・配当予想

連結業績予想サマリー

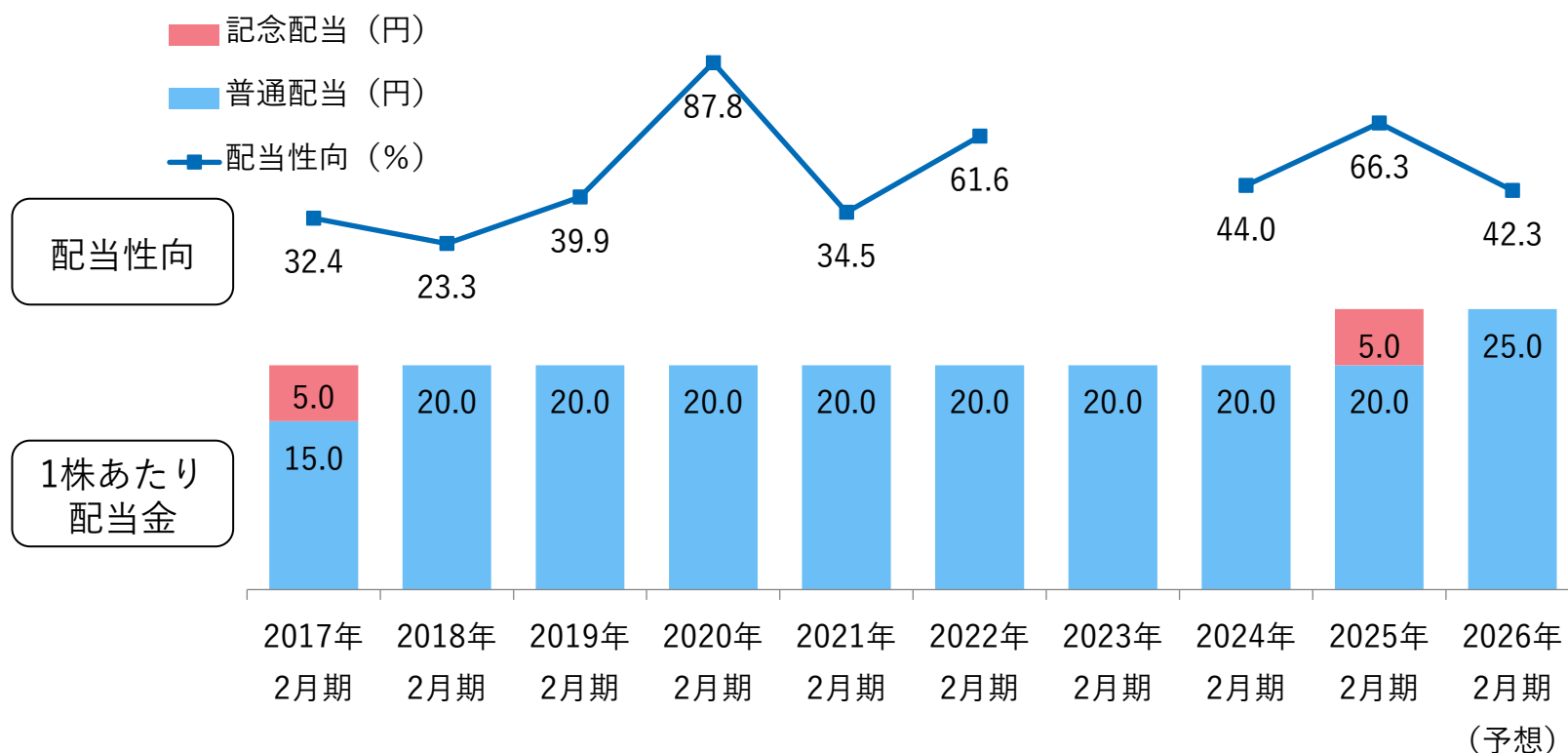
- 売上は国内機械事業・米国子会社が牽引し、昨年までの下期偏重から2026年2月期は平準化される見通し
- 営業利益は一過性費用がなくなることに加え、イタリア子会社の赤字脱却を目指すことで増益を見込む

(単位：百万円)	2025/2月期 実績	2026/2月期 予想	前年比増減	
				%
売上高	23,397	24,500	1,102	4.7%
営業利益	1,201	1,500	298	24.8%
経常利益	1,219	1,500	280	23.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	637	1,000	362	56.8%
一株純利益 (円)	37.71	59.14	21.43	56.8%
ROE	4.2%	6.4%	—	—
為替 (円/ドル)	152.66	145.00	△ 7.66	—

※関税政策等に伴う世界的な貿易摩擦のさらなる激化により、業績に影響が出る可能性があります

配当予想サマリー

- 当年度においても、長期的に安定した配当を維持していくことを基本方針としています
株主還元の一環として、60周年記念配当5円分を上乗せし、普通配当を20円から25円に増額します
- 『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について』の公表は、昨今の情勢を踏まえ慎重な検討が必要と判断し発表を延期いたします。株主の皆様にはご迷惑をお掛けしたこと深くお詫び申し上げます



(注) 2023年2月期の連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しているため記載していません。
記念配当については、2017年2月期は上場20周年記念配当を、2025年2月期は創立60周年記念配当を示します。

トピックス

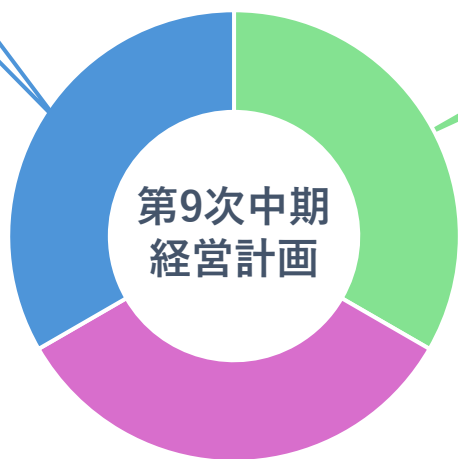
第9次中期経営計画／重点施策 初年度を終えて

基盤事業の強化と拡大

- Freund S.r.l. のパウダーハンドリング装置の受注増加、Freund S.r.l. への技術指導などグループシナジーが加速
- 国内機械部門のアフターサービス事業は好調に推移
供給能力体制の強化は引き続きの課題
- 化成品部門はサプライチェーン最適化に向けた施策が進捗中

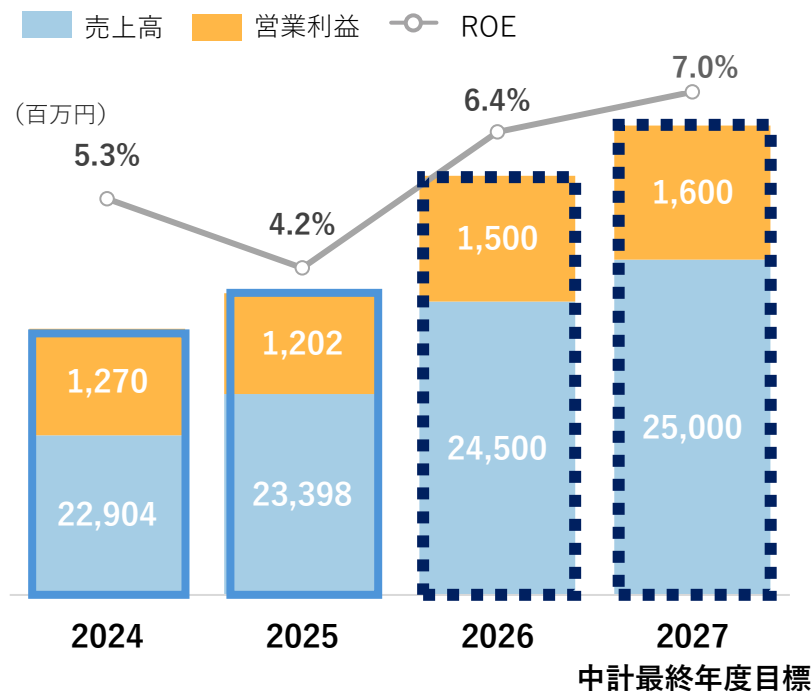
新製品・新事業開発

- 電池市場をはじめとした新たな事業領域の拡大が進展
- 国内機械部門での新技術の活用や、連続生産システムの確立に引き続き取り組む
- 化成品部門では新規直打用添加剤の開発を急ぐ



経営基盤の強化

- 人的資本経営の促進（組織改正に際し、若手を抜擢）
- 安定配当の実現（普通配当を20円→25円に）



參考資料

プロフィール



社名	フロイント産業株式会社
設立	1964年4月
代表者	代表取締役社長 伏島 巖
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目25番13号 フロイントビル
資本金	10億3,560万円（2025年2月末現在）
売上高	233億円（2025年2月期：連結）
従業員数	480名（2025年2月期：連結）
事業内容	機械事業：造粒・コーティング装置等の製造販売 化成品事業：医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売

企業理念

創造力で未来を拓く

Develop the Future through Creativity

経営ビジョン

「なくてはならない」技術に挑み、健やかで潤いのある生活を支える。

Creating essential technologies for a brighter tomorrow

事業概要



機械

MACHINERY

造粒・コーティング装置を筆頭に各種機械装置の技術開発に注力。
医薬品業界を中心に、国内外で数多くの導入実績を誇ります。



医薬品添加剤

EXICIPIENTS

薬は、病気に効く薬効成分と薬の働きを適切に発揮させるための医薬品添加剤からできており、私たちはこれら医薬品添加剤を製造・販売しています。



食品品質保持剤

FOOD PRESERVATIVES

しっとり感が大切な焼き菓子やパンのカビなどの微生物繁殖を抑え、賞味期限を延長できる食品品質保持剤の製造・販売も私たちの仕事です。

機械部門

医薬品、食品、化学品などのさまざまな分野向けに、造粒、コーティング装置などを製造・販売しています。造粒、コーティング装置の販売シェアは国内No1。グローバルでもトップグループに位置します。

日本、アメリカ、イタリア、インド、中国にグループ会社があり、それぞれの地域ニーズに対応したグローバル展開も加速するとともに、医薬品の製造工程においては、上流工程から下流工程にわたる製品をワンストップで提供できる事業基盤の構築を進めています。

こんなところで活躍しています

- 薬の苦味を押さえてマスキングする



医薬品



健康食品

- 着色したり、艶を出すことで美観を良くする



菓子

- 粉を水やお湯にサッと溶けやすくする



食品

- 粉碎して扱いやすくすることで電池やプラスチック製品の材料となったり、リサイクルしやすくなる



ケミカル

医薬品添加剤部門

医薬品、食品業界向けに、副原料となる添加剤を研究・開発・製造・販売し、医薬品やサプリメントなどの研究・開発・製造を側面から支えています。

添加剤は、原薬（薬の薬効成分）とは異なり、無害な天然原料から作られます。

原薬はごく微量であるため、一定の大きさに加工したり、原薬の苦味などをなくして服用しやすくするため、添加剤と混ぜて取り扱いやすい剤形へ製剤化されます。

原薬の効用の持続性や体内の吸収部位へのデリバリー機能を持たせる際も、添加剤が必要となります。

こんなところで活躍しています

- 薬のかさを増やして扱いやすくする
- 薬の成分が体内に吸収される時間を調整する
- 口の中で素早く溶けて、水無し・もしくは少量の水で服用できる



医薬品



健康食品

食品品質保持剤部門

世に先駆けて食品の品質保持によるフードロスや流通の変革への寄与を目指し、1978年に防菌性の食品品質保持剤〈アンチモールド〉を開発しました。

今日では、食品の種類・用途に機能を分けた製品展開をしております。

こんなところで活躍しています

- カビの発生を抑制しながら、食品のやわからさやしっとり感を保つ



洋菓子



和菓子



パン

- 包装内の酸素を吸収して、酸化による変質を防ぐ

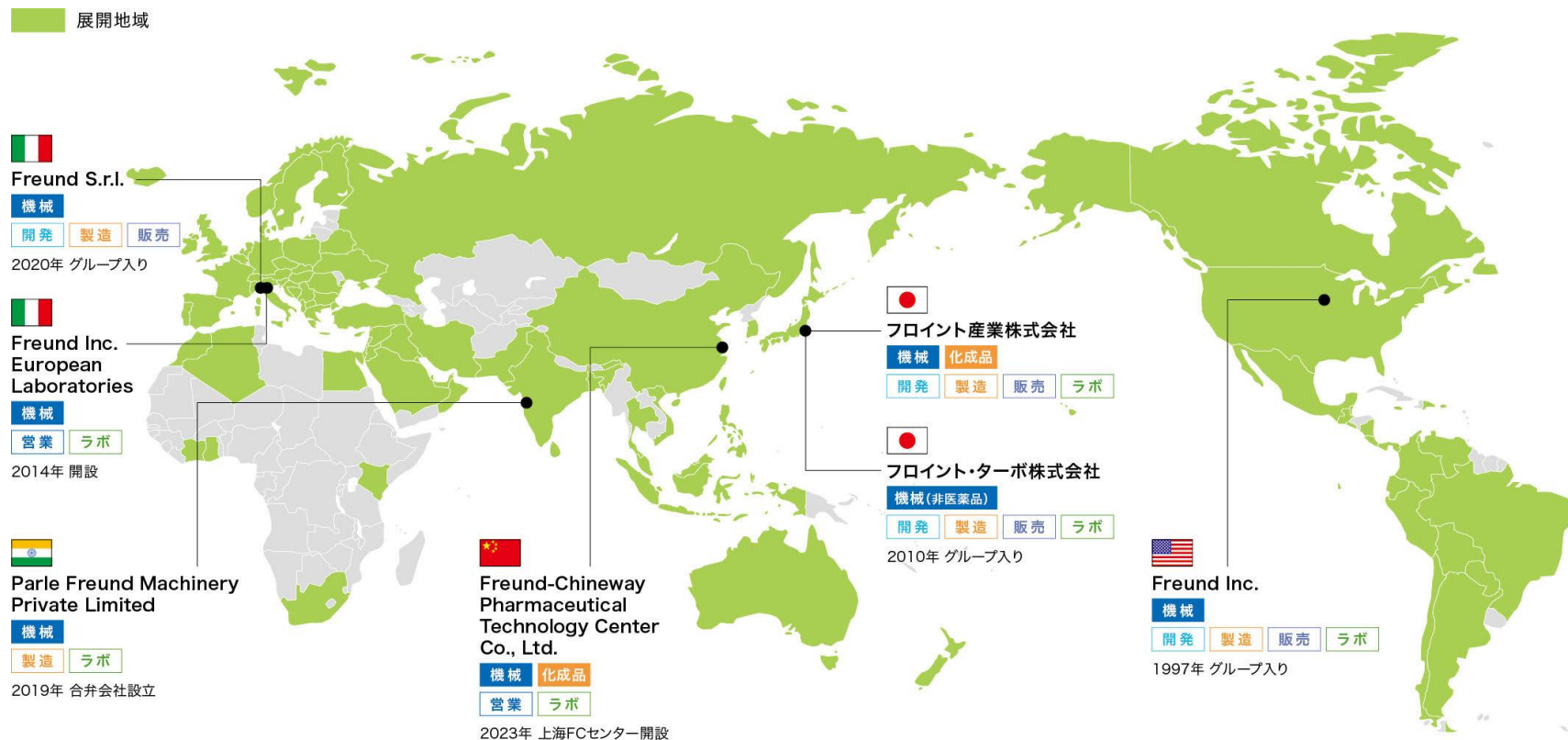


麺



ドライフルーツ

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進





フロイント・ターボ株式会社

フロイント・ターボは、乾式微粉碎機のパイオニアとして「ターボミル」を開発し、1967年に設立され、2010年にグループ入りしました。

創業以来、粉体加工製造における各プロセスの研究開発・製品展開に注力し、化学品および電池材料等の粉体製造分野にハイスペックな製品を提供しています。また、自社技術を用いた合成樹脂等の受託加工事業を行っています。



FREUND Inc.

FREUND Inc. (アメリカ・アイオワ州) は、1972年創業の機械装置メーカーで、1979年から当社のライセンシーとして北米・中南米に造粒・コーティング装置の製造販売を開始しました。

1997年にグループ入りし、今日は、当社グループの米州拠点であるほか、中南米、欧州の製薬・化学・食品メーカーに向けて、営業を展開しています。

グループ会社



FREUND S.r.l.

1991年設立の独立系中堅製剤機械メーカーであるFREUND S.r.l.（イタリア・ミラノ）は、2020年にグループ入りしました。医薬品・化学・食品業界の中核製造過程における付帯的工程を担う原料搬送・プロセス装置など、他グループ会社との重複がない製品を中心に設計・製造・販売を行っています。イタリア国外や、欧州圏外の医薬品新興国などにも展開しており、製品群・地域共にクロス・セリングを可能とし、シナジーを生み出しています。



Parle Freund Machinery Private Limited

Parle Freundは、インド国内における造粒装置の製造販売を行う目的で、2019年に合併企業として設立されました。合併先であるParle Global Technologies Pvt Ltdは1974年の設立で、インドにおいて医薬品製造機械の製造・販売を行ってきました。インドは大手ジェネリックメーカーが多く立地する地域であり、Parle Freundは現地ニーズに合ったものを現地生産しています。



Freund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co., Ltd.

Freund-Chinewayは2023年6月に技術開発研究所として上海に設立いたしました。合併先であるShanghai Chineway Pharmaceutical Technology Co., Ltd.は2003年に設立され、中国国内で医薬品添加剤の販売代理店として営業を行っています。フロイントグループの中国拠点として、中国製薬企業の製品開発サポートを行っています。

フロイント産業株式会社

経営企画部



<https://www.freund.co.jp>



ir@freund.co.jp



本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。

従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。